



発行所 秋田県合川町役場 責任者(広報係)松橋新一 (勤務課 電話4番・14番) [発行部数 2,600]

大野台高度開発に期待

駅、精薄施設の設置決まる

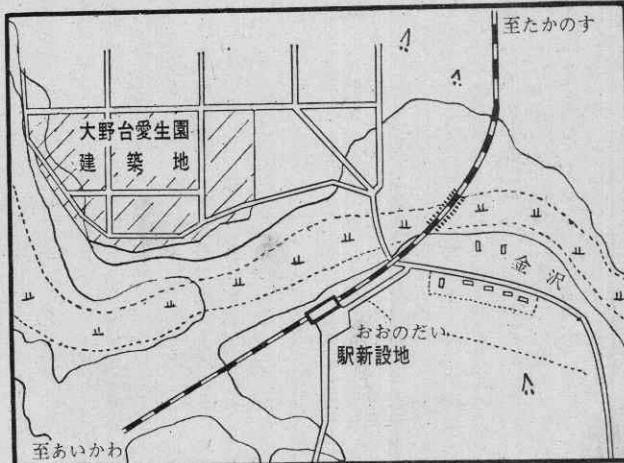
輝しく明けた昭和四十年は、大野台開発にとって新たな方向への歴史的なターニングポイントとして待望の「大野台駅」の施設工事が始まり、四月には精薄施設「大野台愛生園」の建築工事が予定され、さらには大野台北西部地帯の水田開発構想の開拓パイロット事業の具体案の検討がすすむなど新しく生れ変わろうとする大野台の開発が大きくクローズアップされることになった(別項図面のように設置される)

大野台駅着工の運び

四月には開設の予定

大野台開発にとって新軌 立内延長開通によるターニングポイント「大野台駅」の設置工事がいよいよ着工の運びとなった。

大野台開発の高度な開発は、しかし国の高度経済成長政策は都市と地方、農業と他産業の所得格差をもたらす、人口の都市への流出、農家の出稼問題など県域域開発施策の面からも大野台の開発を促進するところとなり、町としては関係者を



の門戸を開くものとして開設の日が待たれている。

大野台愛生園 9月開園を目標

大野台駅の新設決定と同時に金沢部落地内、秋田県厚生協会が精神薄弱者の収容施設を建築することになった。おとなの精神薄弱者を収容する

新雪

新雪はかがやき木枯果てた大地をつむ まぶしいかがやき未来がいっぱい明日を約束している (大野台栄栄部落 地内に)

予算補正、陳情採択

十二月定例会町議会

町議会十二月定例会は、十二月二十一日から二十五日までの五日間にわたり役場会議室で開かれ、町政全般にわたる一般質問のあと、当局から提出された昭和三十八年度決算の認定など二十案件を原案どおり可決、陳情三件を採択、失業保険法改正に関する意見書を関係筋へ提出することなどをきめた。

失業保険法改正に関する意見書
政府は、失業保険法の一部改正案を通常国会に提出し、失業保険金受給資格取得のため就労期間を現行の六カ月から一年に延長するという方針のようであり、本法は右のような改正がされた場合は、秋田県における年間受給額はその八五割の収入減となる見込であり、町においても八百人を越える出稼者、営林署労働者及び町内中小企業の従業員、内商工業者にも甚大な影響を及ぼすものと予測されます。

町職員に 事務服
町ではご利用開始の四日か

子ども中心 楽しい一日
毎月第三日曜を「家庭の日」に

昭和三十八年度決算の認定
町職員給与七・九割
九月一日から引上げるもの
単純な業務に雇用される職員給与の種類及び基準を定める条例の一部改正
職員の懲戒の手續及び効力に関する条例の改正
部分林の設定
昭和三十九年度国民健康保険特別会計補正(一)号

昭和三十九年度国民健康保険特別会計補正(一)号
昭和三十九年度国民健康保険特別会計補正(一)号

昭和三十九年度国民健康保険特別会計補正(一)号
昭和三十九年度国民健康保険特別会計補正(一)号

昭和三十九年度国民健康保険特別会計補正(一)号
昭和三十九年度国民健康保険特別会計補正(一)号

昭和三十八年度決算の認定
一般会計
歳入 132,223,321円
歳出 131,140,524円
歳残金 1,082,797円

昭和三十八年度決算の認定
国保特別会計
歳入 21,103,218円
歳出 22,272,559円
繰上充用 1,169,341円

昭和三十八年度決算の認定
診療施設特別会計
歳入 23,675,485円
歳出 24,282,973円
繰上充用 607,488円

町政メモ
1日 年始交歓会
4日 ご用始め 青少協部落座談会ははじまる
5日 消防出初式
11日 選挙管理委員会
15日 成人式 (写真一年始交歓会であいさつする 島山町長)

